

JPPFA

公共柘用 MT 継手

AS 39 : 2010

平成 22 年 8 月 13 日 改正

塩化ビニル管・継手協会

Japan PVC Pipe and fittings Association

塩化ビニル管・継手協会規格

公共柵用 MT 継手

1 適用範囲

この規格は、公道下の公共柵に用いるMT150継手（以下、継手という。）について規定する。

2 引用規格

付表1 に示す規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語の定義は、JIS K 6900によるほか、次による

3.1 常温

JIS Z 8703 に規定する標準状態の温度 20 とし、その許容差を JIS Z 8703 の 3.1(標準状態の温度の許容差)の温度 15 級 (± 15) とした温度状態で、 20 ± 15 。

3.2 形式検査

品質が、設計で示すすべての性能に適合するか否かを判定するための検査

3.3 受渡検査

製品を受け渡す場合に、必要と認められる性能に適合するか否かを判定するための検査

4 種類及び略号

継手の種類及びその略号は、**表1**による。

表1 - 種類及び略号

種類	略号
小口径公共柵用継手	MT150

5 性能

継手の性能は、9.1.1～9.1.5によって試験したとき、**表2**に適合しなければならない。

表 2 - 性能

性能項目	性能	適用箇条
引張降伏強さ	23 における引張降伏強さは 45MPa 以上	9.1.1
耐圧性	破損があってはならない	9.1.2
偏平性	割れ及びひびがあってはならない	9.1.3
耐薬品性	各試験液とも質量変化度は $\pm 0.20\text{mg}/\text{cm}^2$ 以内	9.1.4
ピカット軟化温度	76 以上	9.1.5

6 外観及び形状

6.1 外観

継手の外観は、内外面が滑らかで、使用上支障となる、ばり・きず・割れ・ねじれなどの欠点があってはならない。

6.2 形状

継手の形状は付図1～付図2のとおりとする。接合部は実用的に正円の断面をもち、その端面は、継手の軸に対して直角でなければならない。

7 寸法及びその許容差

継手の寸法及びその許容差は付図1及び付図2による。

8 材料

継手の材料は、ポリ塩化ビニルを主体とし、良質な安定剤、顔料を加えたものとする。

なお、可塑剤及び可塑剤を含む材料は使用してはならない。

9 試験方法

9.1 性能試験

9.1.1 引張試験

継手の引張試験は、JIS K 6815-1 : 2002及びJIS K 6815-2 によって行う。ただし、JIS K 6815-1 : 2002の5 (試験片) 及び (状態調節) については、次によってもよい。

a) 試験片

供試継手から受渡当事者間の協定により適切な試験片を作製する。

b) 状態調節

試験片は、 23 ± 2 で60分間以上、状態調節を行う。

9.1.2 耐圧試験

継手の耐圧試験は、適切な方法で供試継手の内部に常温の水で、0.35MPaの圧力を加え、そのまま1分間放置した後、破損を目視によって調べる。

9.1.3 偏平試験

継手の偏平試験は、試験片として供試継手の接合部から、接合部長さ - 0mm, + 10mmの試験片を切り取り、これを 23 ± 2 で60分間以上状態調節後、2枚の平板間に挟み、試験片の軸に直角の方向に10mm/min \pm 2mm/minの速さで、試験片の外径が、その1/2になるまで圧縮し、継手外表面を目視によって調

べる。

なお、試験温度は 23 ± 2 とする。試験片を圧縮する平板の寸法は、1/2まで圧縮したとき、変形した試験片より十分な大きさとする。

9.1.4 耐薬品性試験

継手の耐薬品性試験は、供試継手の接合部分から長さ15mm、幅25mmの試験片を試験液ごとに各2個切り取り、表3に示す各試験液に 60 ± 5 で5時間浸した後、流水中で5秒間洗浄（水による耐薬品性試験の場合は行わない。）し、乾いた布で表面の水分をふき取り、質量をはかる。

質量変化度は次の式によって算出し、2個の平均値を求める。

$$d = \frac{Wa - Wb}{S}$$

ここに、 d ：質量変化度（ mg/cm^2 ）

Wa ：試験片の試験後の質量（ mg ）

Wb ：試験片の試験前の質量（ mg ）

S ：試験片の表面積（ cm^2 ）

表3 - 試験液の純度及び濃度

試験液の種類	試験液の純度及び濃度
水	蒸留水又はイオン交換水
塩化ナトリウム溶液	JIS K 8150 の塩化ナトリウムの 10% 水溶液
硫酸	JIS K 8951 の硫酸の 30% 水溶液
水酸化ナトリウム溶液	JIS K 8576 の水酸化ナトリウムの 40% 水溶液

9.1.5 ピカット軟化温度試験

ピカット軟化温度試験に用いる試験片については、JIS K 6816に合わせ、受口部、差し口部又は円柱部分から15mm～50mm（管軸方向）、幅10mm～20mmを切り出す。厚さが2.4～6mmのものはそのまま、6mmを超える場合は、外側表面を機械加工によって4mmまで切削する。

これをJIS K 6816によって試験を行う。この場合、試験片に加える試験荷重は $50\text{N} \pm 1\text{N}$ とし伝熱媒体の昇温速度は、毎時 50 ± 5 とする。

なお、試験片の想定されるピカット軟化温度より少なくとも50 低い温度で、5 分間状態調節する。

9.2 外観及び形状

継手の外観及び形状は、目視によって調べる。

9.3 寸法

継手の寸法は、JIS B 7502に規定するマイクロメータ、JIS B 7507に規定するノギス又は、これらと同等以上の精度を持つものを用いて測定する。角度は、分度器などを用いて測定する。

9.4 試験結果の数値の表し方

9.1.1、9.1.4及び9.1.5の試験結果は、表2の性能に規定する数値の1けた下の位まで求めて、JIS Z 8401によって規定の数値に丸める。

10 検査

継手の検査は、形式検査と受渡検査とに区分し、それぞれの検査項目は次による。各項目は、この規格に適合しなければならない。

なお、検査の試料の採取方法は、受渡当事者間の協定による。

a) 形式検査

形式検査は、次の項目について行う。

- 1) 引張降伏強さ
- 2) 耐圧性
- 3) 偏平性
- 4) 耐薬品性査
- 5) ピカット軟化温度
- 6) 外観及び形状
- 7) 寸法
- 8) 表示

b) 受渡検査

受渡検査は、次の項目について行う。ただし、受渡当事者間の協定によって、次の項目の中から選択して行うことができる。

- 1) 外観
- 2) 形状
- 3) 寸法
寸法は、接合部だけを検査する。
- 4) 表示

11 表示

11.1 継手の色

継手の色は、灰色とする。ただし、受渡当事者間の協定によって、ほかの色を使用してもよい。

11.2 継手への表示

継手の外側には容易に消えない方法で、次の事項を表示しなければならない。

- a) 継手の略号
- b) 呼び径
- c) 製造業者名又はその略号
- d) 製造年又はその略号¹⁾

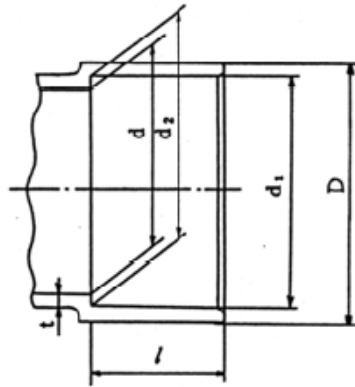
注¹⁾ 一製品ごと又は一包装ごとに表示するものとする。

付表1 - 引用規格

JIS B 7502	マイクロメータ
JIS B 7507	ノギス
JIS K 6815-1:2002	熱可塑性プラスチック管 - 引張特性の求め方 - 第1部：一般試験方法
JIS K 6815-2:2002	熱可塑性プラスチック管 - 引張特性の求め方 - 第2部：硬質塩化ビニル (PVC-U)管，耐熱性硬質塩化ビニル(PVC-U)管及び耐衝撃 性硬質塩化ビニル(PVC-HI)管
JIS K 6816	熱可塑性プラスチック管及び継手 - ビカット軟化温度試 験方法
JIS K 6900	プラスチック用語
JIS K 8150	塩化ナトリウム（試薬）
JIS K 8576	水酸化ナトリウム（試薬）
JIS K 8951	硫酸（試薬）
JIS Z 8401	数値の丸め方
JIS Z 8703	試験場所の標準状態

関連規格

AS 38	屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手（VU継手）
--------------	-------------------------

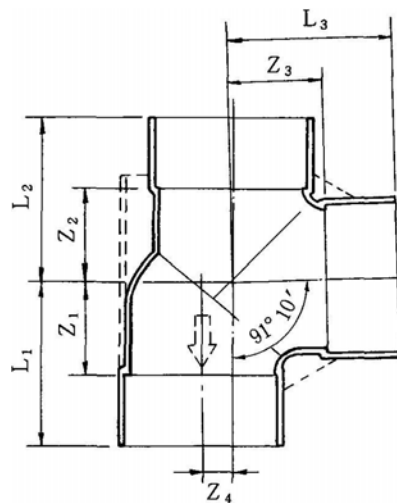


単位 mm

記号 呼び径	d_1		d_2		l		d	t
	基本寸法	許容差	基本寸法	許容差	基本寸法	許容差	最小寸法	最小寸法
150	166.1	± 0.5	163.9	± 0.5	80	± 5	154	5.5

注記1 d_1 及び d_2 は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

付図1 - 受口その他の共通寸法



単位 mm

記号 呼び径	Z_1	Z_2	Z_3	Z_4	L_1	L_2	L_3
150	102	102	102	30	182	182	182

注記1 Z_1 , Z_2 , Z_3 及び Z_4 の許容差は、 $\pm 3\text{mm}$ とする。
 注記2 L_1 , L_2 及び L_3 は、標準寸法を示す。
 注記3 破線で示すようなリブ、安定脚をつけることができる。
 注記4 流れ方向を示す矢印を図のように外側に浮き出しする。

付図2 - 小口径公共樹用継手 (MT150)

AS 39
公共柘用 MT 継手

平成 22 年 8 月 13 日

第 1 刷発行

発行所

塩化ビニル管・継手協会
〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 丁目 5 番 26 号 東部ビル